

インディアカ



羽根のついたボール（正式名称は「インディアカボール」）を手（肘より先）を用いて4対4、国際インディアカ協会による国際ルールでは5対5で打ち合う。コートのはさはバドミントンのダブルスと同じである。ルールはバレーボールによく似ており、サーブから始め、レシーブ・トス・アタックの三段構成で敵陣に3回以内でボールを返す。

試合形式でなくて、2人で羽子板のように遊んだり、数人で円を作りレシーブの回数に挑戦したりと、遊び方はいろいろある。

【基本貸出セット】 ※競技可能セット
①インディアカ（羽）



インディアカ（羽）